

VPN利用例

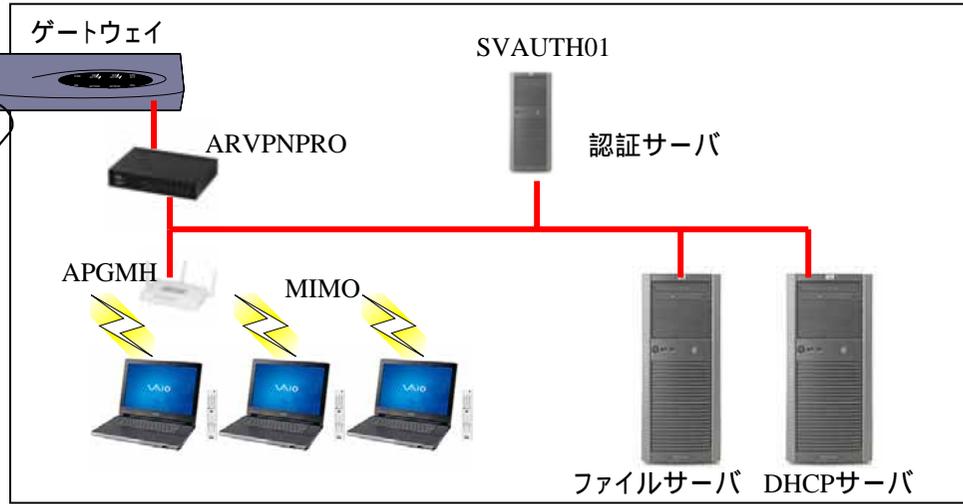
VPNHUBはコレガに1台設置しています。目的はお試し導入用です

本格運用に使用するには別にレンタルサーバを借りて構築しないとイケないでしょう

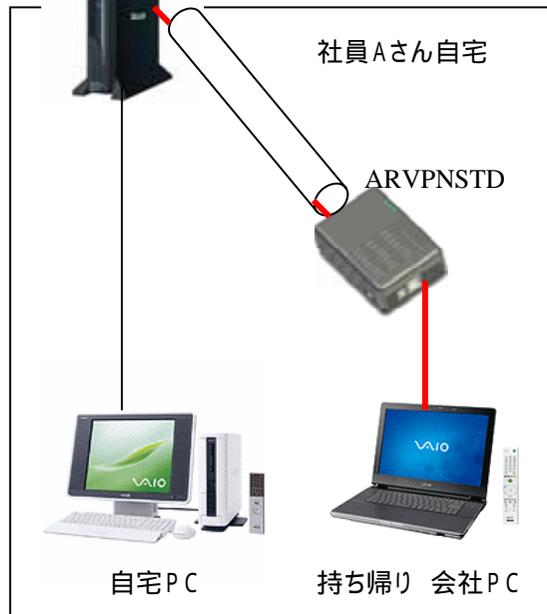
EUにVPNHUBのソフトを渡すことも可能です。保守を希望する場合は保守ライセンスのメニューがユーザ数で必要になります

運用管理はEUで行わせることが基本です

VPNHUB
(HUBの図はイメージです。実際はルーティングテーブルがソフト的に存在しているだけです。インターネット上にGlobal IPを有して存在しているサーバです)



パイプはVPNトンネリングのイメージです



ARVPNSTDとARVPNPROを使った社内LANへのVPN接続インフラを簡単に構築出来ます

ARVPNSTDは1端末をVPNセッションで接続するBOXです

ARVPNPROはネットワークをVPNセッションで接続するBOXです。会社のLANを1セッションと考えて家庭からのセッションとルーティングさせます (図の赤いラインは会社のLANになります)

ARVPNSTDはHUBのパフォーマンスにより異なりますが、実用的には20~30台程度の同時利用が可能です。接続数の制限は設けていません。

ARVPNSTDに接続されたノートPCは会社のDHCPサーバからIPを取得して利用します Bさんのような無線を使ってもOKです

接続制限はSVAUTH01により認定された会社のパソコン以外の接続がされないように守られています

VPN利用例

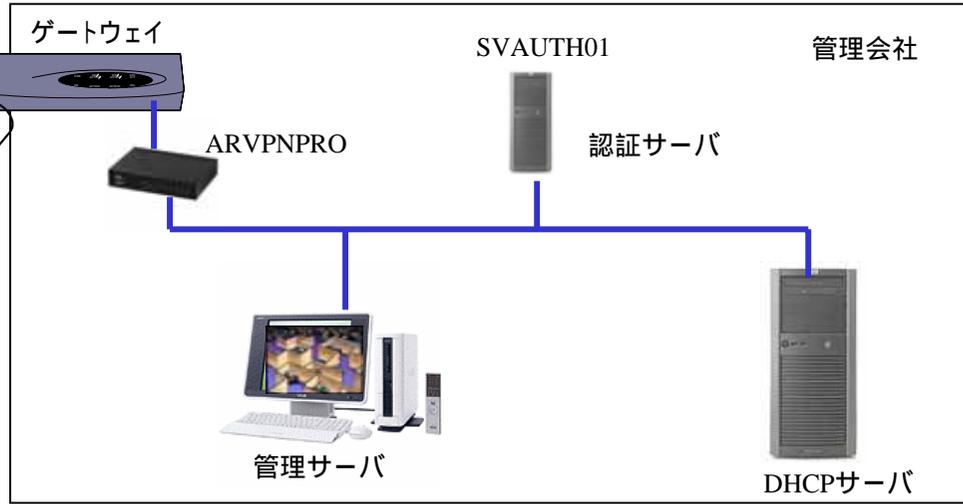
VPNHUBはコレガに1台設置しています。目的はお試し導入用です

本格運用に使用するには別にレンタルサーバを借りて構築しないとイケないでしょう

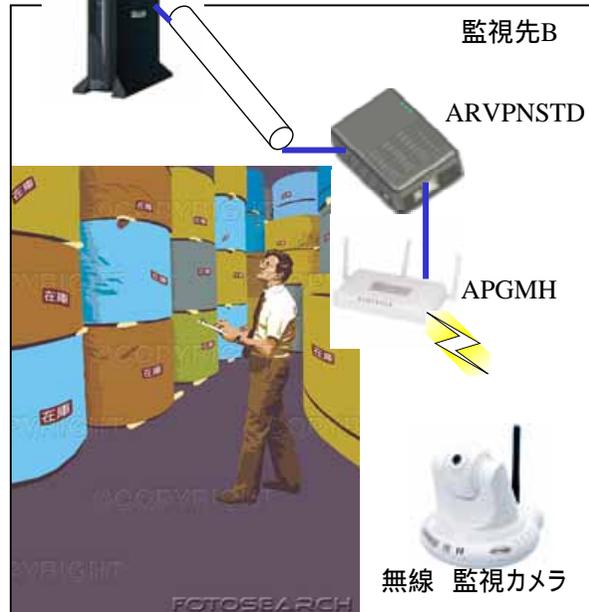
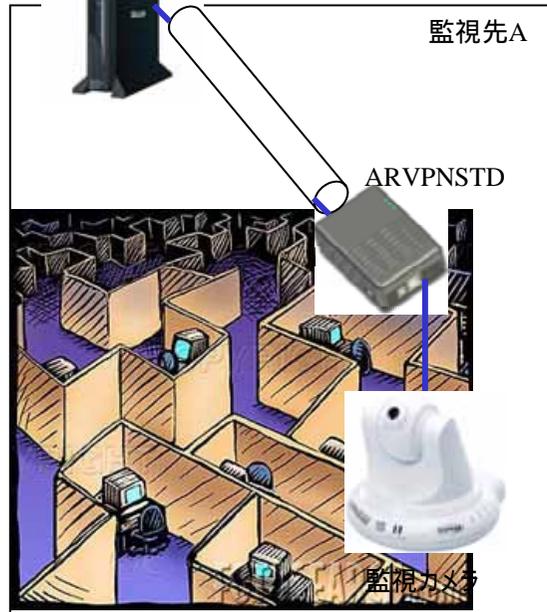
EUにVPNHUBのソフトを渡すことも可能です。保守を希望する場合は保守ライセンスのメニューがユーザ数で必要になります

運用管理はEUで行わせることが基本です

VPNHUB
(2段目のHUBに繋がっているイメージです。実際はVPNのVLAN Idが異なったテーブルをイメージ化しています)



パイプはVPNトンネリングのイメージです



同じVPNHUBを使って、セキュリティサービスを社内に取り込む利用例です

HUBは何段も作成出来ますが、接続台数はサーバのパフォーマンスにより異なります(総合同時使用台数で決定されます)

管理会社の管理サーバの接続しているLANをARVPNSTDで拡張し、企業の中にカメラを設置する例です

ARVPNSTDはNAT越えのセッションをします。BBRouterにポートを開けることなく安全にカメラを設置します。専用線などは必要ありません。目的別にVLANを設定すると同じようにVPNHUBの中にテーブルを用意して、運用していきます

インターネットを利用するので、世界中のインターネットが利用できる環境があれば場所を選びません。

ARVPNSTDはこれらのVPN非対応の製品を簡単にVPN広域ネットワークに参加させることが出来る製品です

VPN利用例

VPNHUBはコレガに1台設置しています。目的はお試し導入用です

本格運用に使用するには別にレンタルサーバを借りて構築しないとイケないでしょう

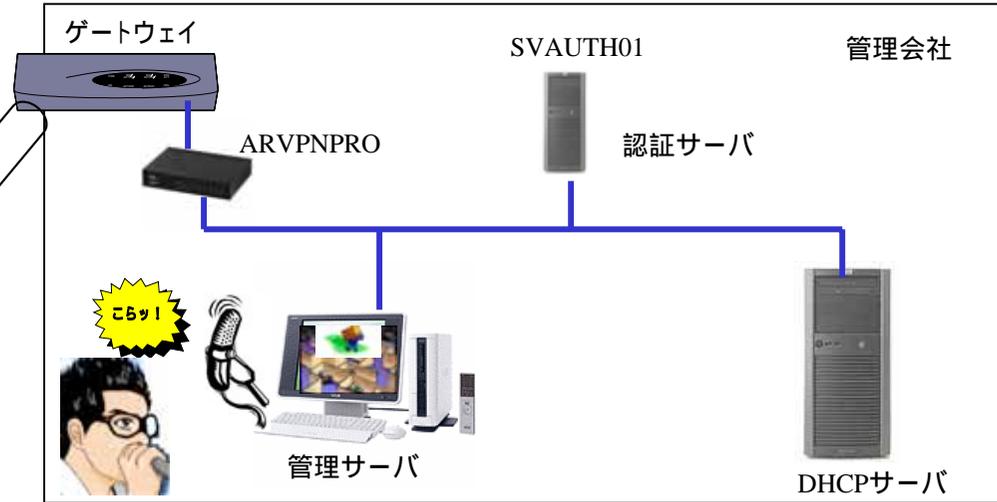
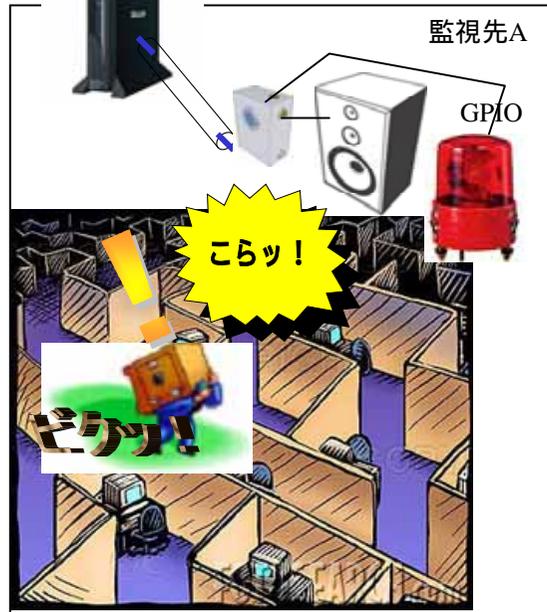
EUにVPNHUBのソフトを渡すことも可能です。保守を希望する場合は保守ライセンスのメニューがユーザ数で必要になります

運用管理はEUで行わせることが基本です

VPNHUB
(2段目のHUBに繋がっているイメージです。実際はVPNのVLAN Idが異なったテーブルをイメージ化しています)



パイプはVPNTンネリングのイメージです



現在開発中のNWカメラはマイクイン、スピーカアウト、またIOを備えたカメラです

VPNもオプションで対応しています

NW監視を行わない場合、オプションの記憶装置(HDDやSDなど)に映像を記録することが可能です

VPNはVPNHUBに接続するものなので、従来のシステムをそのまま生かします

カメラのレンズも交換対応の為、100万画素や暗視などにも対応可能です

当然、無線LANにもオプションで拡張可能です

*VPN内蔵カメラはコレガの特許になります

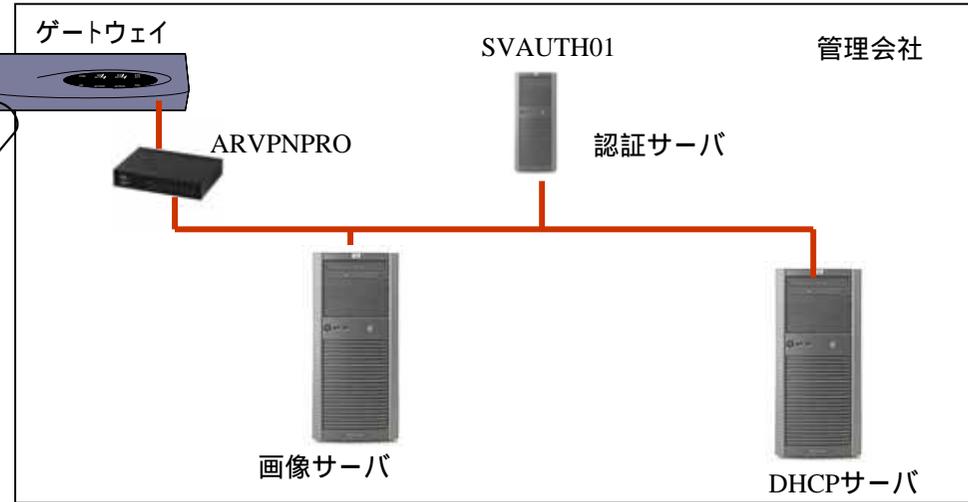
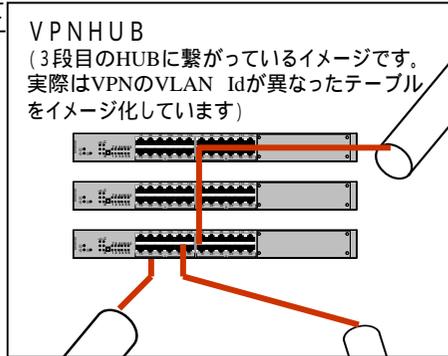
VPN利用例

VPNHUBはコレガに1台設置しています。目的はお試し導入用です

本格運用に使用するには別にレンタルサーバを借りて構築しないとイケないでしょう

EUにVPNHUBのソフトを渡すことも可能です。保守を希望する場合は保守ライセンスのメニューがユーザ数で必要になります

運用管理はEUで行わせることが基本です



パイプはVPNTンネリングのイメージです



現在企画中のVPNSTBはスピーカアウト、NTSCアウト、またIOを備えた画像コンバータです。コレガのLCDモニタを接続して利用します

本システムでは、センターが指示したタイミングで、クライアントがFTPなどを利用してセンターからイメージデータを取得し、指示されたスケジュールで表示を行う蓄積配信方式です

映画配信のようなものとは異なり、BGVやコマーシャルビデオなどを連続的に配信するようなものに向いています

自前でサービスを容易に立てられるので導入初心者には受け入れられやすいシステムです

システムそのものを売るか、サービス課金をVPNHUBで行うかのどちらかになります